

参加無料 第19回川でつながる発表会 開催案内

新座市内の湧水や水循環に関する地点の見学や、新河岸川流域の学生等による「いり川づくり」をテーマにした日頃の活動成果の発表等を行います。

■日時：2023年12月17日(日)10:00-16:30
■会場：新座市立歴史民俗資料館
■見学会 10：10～
 妙音沢等の見学
■発表会 13：00～
 川越女子高等学校
 所沢北高等学校
 立教新座高等学校
■交流会 14：50～ ※プログラムや見学地点、発表者は変更になる可能性があります。
 パネル展示等

開催概要

申込方法

申込先・お問い合わせ
 新河岸川流域川づくり連絡会事務局/
 日本工営株式会社 防災マネジメント部 安井
 E-mail: sogo-bosai@dx.n-koel.co.jp
 FAX: 03-3262-4451

【方法①】
 QRコードを読み込み、必要事項をご入力ください。



参加申込QRコード

【方法②】
 必要事項7点を記載して、E-mail またはFAXにて【12月10日(日)】までにご連絡ください。

<必要事項>
 1.氏名 2.住所 3.TEL 4.E-mail
 5.生年月日 6.性別
 7.参加予定のプログラム(見学会、発表会、交流会)

流域掲示板

10/15 湧き水環境フォーラムin和光

NPO法人和光・緑と湧き水の会の主催で10月15日(日)に湧き水環境フォーラムin和光が開催されました。前半の湧水めぐりでは、熊野神社、富澤湧水、大坂ふれあいの森を見学しました。参加者は、湧水に実際に触ったり、湧水に生息しているサワガニを観察したりすることで、湧水の恵みを実感していました。

後半は、日本地下水学会の吉田氏を講師に招き、和光市の湧水の特徴や湧水保全の課題をテーマに講演いただきました。講演終了後には、「湧水を次世代に残すためには」というテーマで意見交換会が行われました。SNSを活用した湧水の保全活動のPRなど、参加者から様々なアイデアが共有されました。



10/23 野川流域連絡会との交流会

10月23日(月)に、野川流域連絡会との交流会を行いました。野川流域連絡会のメンバーに案内いただきながら、緑や湧水が豊かな野川を見学した後、両連絡会の参加者の皆さんで、現地見学や活動紹介の感想や今後の取り組みについて意見交換を行いました。

流域を超えたつながりを感じ、様々な考えを知る貴重な機会となりました。



▲野川の見学

▲意見交換

事務局だより

11月7日(火)に第2回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第19回川でつながる発表会の企画内容についての協議や、10月23日(月)に開催された野川流域連絡会との交流会の報告等を行いました。



第2回連絡会の様子

川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、今年度は3回の開催を予定しています。参加希望の方は下記の連絡先までお問い合わせください。

しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各地域での活動報告やイベント情報を募集しています。川に関する身近な情報などをお手紙またはFAXなどで下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先
 新河岸川流域川づくり連絡会 事務局
 (国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 流域治水課内)
 〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1
 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346
 URL https://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage_index044.html

THE SHINGASHI BASIN NEWS

新河岸川流域しんぶん

里川

SATO-GAWA

VOL.102

発行●新河岸川流域川づくり連絡会(荒川下流河川事務所 流域治水課内)
 住所●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346
 発行日●令和5年11月17日



切り絵 毛利将範

切り絵の解説
 来迎の泉は、富士見川沿いの来迎寺下にある湧水です。富士見市の台地には、とこどころに小さな谷が入り組んでいて湧水が多く見られます。富士見川が侵食した谷沿いにも、豊富な水量の湧水がいくつもあり、農業用水や生活用水・水車の動力などに利用されていたそうです。ここ来迎の泉は、周辺がきれいに維持されており、今でも周辺の人たちに親しまれている貴重な湧水であることが感じられます。

目次

P2～3 新河岸川流域 イベント開催報告in2023
 P4 第19回川でつながる発表会 開催案内/流域掲示板/事務局だより
 P5 特集:新座市を散策しよう!

だんだん 秋が深まり、2023年も終盤を迎えています。季節の変わり目になりますので、体調に気を付けてお過ごしください。

今号では、10月までに実施された川まつりなどの新河岸川流域での活動内容を紹介します。今年は各地で様々なイベントが行われ、コロナ前のような賑わいが戻ってきました。

特集記事では、第19回川でつながる発表会の開催地である、新座市内の見学地点を紹介します。ぜひ皆さんお越しください!

新河岸川流域 イベント開催報告in2023

1 7/15(土) 「第47回クリーンアップ空堀川夏の清掃活動」

主催：空堀川を考える会

夏の始めに第47回クリーンアップ空堀川夏の清掃活動が行われました。上流と下流に分かれたゴミ拾いや、清掃後のゴミの分別に、多くの方が熱心に取り組んでいました。レジ袋は減ってきているものの、ペットボトルが増えてきており、改めて環境に対する考えをしっかりと持たないといけないと感じました。川清掃は、環境のためだけではなく、私たちの暮らしにも関係しており、こう



40代男性

休み地域貢献活動を実施している。地域の意識が向上していると感じている。カッパ系のゴミは増えていますが、粗大系ゴミやレジ袋は減っているように思う。地域貢献活動や一人ひとりが持つ意識が大切だということが分かる良い機会となりました。

2 7/22(土) 「きよせの環境・川まつり」

主催：清瀬市及び環境・川まつり実行委員会

セミたちの元気な鳴き声にかこまれた柳瀬川沿いの台田運動公園で、きよせの2023環境・川まつりが開催されました。水中観察、川わたり、ウォータバレーン、いかだコンテストなど、柳瀬川に触れ、親しむイベントが行われる一方で、公園内では子どもたちがつかまえた生き物、川に落ちていたゴミ、環境にやさしい暮らし方などのコーナーが設けられていました。川と自分のつながりを知り、この環境を守るために自分ができることを考えることができるイベントでした。



40代男性

自分が子どものころはこんなに魚はいなかった。以前に比べ、川がきれいになったと感じる。

3 7/23(日) 「第30回わくわく川掃除&川あそび」

主催：わくわく川掃除&川あそび実行委員会

夏らしく晴れた暑い日に、第30回わくわく川掃除&川あそびが開催されました。新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、久しぶりに、川掃除と川あそびの同時開催となりました。市民団体、消防、久留米西高等学校、東京都など、多くの方が協力し、魚とりやタイヤボート、放水訓練が行われ多くの方の笑顔が見られました。川は魚たちの住み家であるだけでなく、子どもたちの遊び場や火災時の放水源としての防災の役割もあることがよくわかる機会となりました。



高校1年生

久留米西高校の1年生が川遊びの手伝いをした。私は竹の本橋を担当した。これまで地域のイベントに参加したことはなかったが、地元の方と触れ合える良い機会だったと思う。

4 8/6(日) 「第26回北山わんぱく夏まつり」

主催：北山わんぱく夏まつり実行委員会・東村山市 協力：北川かっぱの会

よく晴れた夏の空のもと、「自然にどっぷりとつかり、自分の責任で楽しく遊ぼう!」という開会宣言を皮切りに、北山公園で第26回北山わんぱく夏まつりが開催されました。いきもの探し、カヌー遊び、北川ウォークなどの自然に触れるイベントや、北川水族館、紙芝居などを見て、知って、楽しむイベントが行われ、親子が一緒になって楽しんでいました。いきものを追いかけて公園内を元気走り、魚のとり方を真剣に教えている子どもたちの姿が印象的でした。



30代女性

川でジャブジャブ遊ぶことができ、子どもは楽しく過ごしていた。実際に生き物に触れられる機会は大変だった。

今年も新河岸川流域で様々なイベントが開催されました。新型コロナウイルス感染症の規制が緩和され、以前のような賑わいが戻ってきました。



5 8/6(日) 「わいわい川遊び」

主催：たかやんの応援団

夏らしい天気の中、黒目川でわいわい川遊びが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響でここ数年開催できておらず、久しぶりの開催となりました。参加者みんなで、水槽を囲みとった魚の観察を行い、タイヤボートで遊びました。川遊びを通じ参加者同士の繋がりが生まれ、大きな家族のようでした。何回か参加している方も多く、この地域に浸透した定番の夏イベントになっています。



11歳、7歳、2歳のお母さん

川遊びの貼り紙を見て、川遊びに参加した。普段も川遊びをしており、一番上のお兄ちゃんの頃から何回か参加している。タイヤボートや魚の説明が良かった。

6 8/26(土) 「第28回黒目川・川まつり」

主催：黒目川川まつり実行委員会

夏休みも終わりに近づいてきている頃、第28回黒目川・川まつりが開催されました。川清掃や魚とり・ボート遊び・スイカ割りなどが行われ、夏の暑さにも負けないほど、多くの方の活躍や笑顔が見られました。魚とりでは、みんなでとった200匹を超える魚を展示し、多くの方が熱心に観察をしていました。川に入って遊ぶこと、川に慣れることで水難防止にも繋がります。



子ども

川に初めて入った。魚とりも初めてだった。スイカ割りも楽しかったし、また来たい。

7 10/7(土) 「第25回越戸川まつり」

主催：和光自然環境を守る会・和光市環境課

季節が秋に変わった10月の始めに、第25回越戸川まつりが開催されました。子どもたちは魚とりのチャンピオンを目指し、たくさんの魚や大きな魚を捕まえようと頑張りましたが、とても楽しんでいました。越戸川沿いでは、起震車搭乗体験や焼きそばの販売なども行われており、遊んで、学んで、食べて、充実した日となりました。



大学生

現在大学1年生であり、去年から越戸川のゴミ拾いや一斉調査に参加している。再生してきている環境を未来に残したいという想いで取り組んでいる。

8 10/22(日) 「白子川源流まつり」

主催：第2回白子川源流まつり実行委員会

段々冷え込んできた秋の日に、白子川源流まつりが開催されました。久しぶりに従来の規模での開催となり、白子川や生き物に触れる場のほか、ホトケドジョウのバルーンアート釣りや井頭弁天様とともに白子川コイン落としなど、個性的な企画が並びました。



白子川について学び、白子川を好きになり、みんなが白子川博士になることができるようなおまつりでした。白子川源流まつりが今年度最後の新河岸川流域内の川まつりであり、夏から秋への季節の移ろいも感じました。



小学生の女の子

白子川に入って魚をとることができた。水に入ると、最初は冷たかったけれど段々慣れてくると気持ちよかったです。



にいざしさんさく 新座市を散策しよう！

だい かいかわ ほっぴょうかい にいざし かいさい
第19回川でつながる発表会は新座市で開催
 されま。今回は新座市内の水循環や地域の
 歴史に関する場所を紹介します。



(出典：新座市 HP)

1 のびどめようすい みず りよう 野火止用水(水の利用)

のびどめようすい ねん とうじ かわごえはんしゆ まつだい
 野火止用水は1655年に、当時の川越藩主であった松平
 いずのかみのぶつね のびどめだいち たいせつ しんりようすい
 伊豆守信綱によって、野火止台地の大切な飲料水として、
 たまがわじようすい ぶんせい げんせい とうきようところだいらし
 玉川上水から分水したものです。現在の東京都小平市か
 ほ のびどめだいち へ しんがしがわ した せんちようやく
 ら掘りおこし、野火止台地を経て新河岸川に至る全長約
 24kmに及ぶ用水路です。
 およ しようすいろ
 家や畑に水を運ぶ重要な役割を持っていました。



2 みようおんさわ ゆうすい 妙音沢(湧水)

みようおんさわ やく しゃめんりん りよくちない ほうふ
 妙音沢は、約3.3haの斜面林で、緑地内には豊富な
 ゆうすい とうきようきんてう めずら きちよう さんやそう じせい
 湧水と東京近郊では珍しい貴重な山野草が自生す
 たよう ふくざつ せいたいけい けいせい
 るなど、多様で複雑な生態系を形成しています。
 にいざし へいせい ねん がつ としりよくちほう もと
 新座市では、平成16年2月に都市緑地法に基づく
 みようおんさわとくべつ りよくち ぼぜん ちく してい ぼぜん おこな
 「妙音沢特別緑地保全地区」に指定し保全を行って
 います。
 みようおんさわ ゆうすい かんきようしよう へいせい めいすい
 また、妙音沢の湧水は環境省によって「平成の名水
 ひやくせん せんてい
 百選」に選定されています。



れきしめんぞくしりようかん
12/17に歴史民俗資料館で
第19回川でつながる発表会が
開催されるよ。ぜひ来てね！



3 へいりんじけいだいりん みずじゅんかん 平林寺境内林(水循環)

へいりんじ のびどめようすいぞ いっかく ぜんでら ゆうめい
 平林寺は、野火止用水沿いの一角にある禅寺として有名で
 やく けいだいりん くにしていてんねんきねんぶつ してい
 あり、その境内林は国指定天然記念物に指定されています。
 約40haの境内には、クリ・コナラ・クヌギ・アカマツなど
 むさしの さとやま ふぜい ちようらいやく しゆ えつとう ほんしゆく わた
 武蔵野の里山の風情があり、鳥類約60種が越冬や繁殖、渡
 ちゆうけいち せいそく
 りの中継地などとして生息しています。
 あまみず つち しんとう は じようざん ぞうきばやし みず
 雨水が土に浸透し、葉から蒸散するように、雑木林は水
 じゆんかん いちぶ にな
 循環の一部を担っています。



4 れきしめんぞくしりようかん ちいき れきし 歴史民俗資料館(地域の歴史)

れきしめんぞくしりようかん にいざし れきし みるぞく こうこ かん
 歴史民俗資料館は、新座市の歴史、民俗、考古などに関する
 しりよう しゅうしゅう ぼそん
 資料の収集や保存をしています。「れきしてらす」という
 あいしやう みな した たの まな しせつ かつやま
 愛称があり、皆さんに親しまれ、楽しく学ぶ施設です。片山
 いっちやうめ きやう れきしめんぞくしりようかん へいかん いてん れいわ
 一丁目にあった旧・歴史民俗資料館は閉館・移転し、令和5
 ねん がつ にち ぼけん
 年4月1日に、保健
 センターとの複合施
 せつ のびどめにちやう
 設として野火止二丁
 め かいかん
 目に開館しました。
 だい かいかわ
 第19回川でつな
 ほっぴょうかい かいじよう
 がる発表会の会場で
 す。

